

12. 学修評価

【成績評価基準】

各科目における試験の点数により成績の評価をする。C以上を合格とし、単位認定する。

点数	評価	合否	単位
100～90点	S	合格	認定
89～80点	A	合格	認定
79～70点	B	合格	認定
69～60点	C	合格	認定
59点以下	F	不合格	不認定

○ 学期末（前期・後期）にポータルサイトで開示される成績表には、上記の評価の他、次の記載がある。

N：編入学等、本学入学前の既修得単位について、本学における授業科目の履修とみなし、単位認定をする。

M：試験未受験とし、不合格とする。

T：出席不良による受験停止とし、不合格とする。

W：履修中止を表す。

【評価方法】

科目ごとに設定している学修成果が修得できているかを、定期試験、その他の試験を実施し、点数により適正に評価し、単位認定を行う。定期試験は、筆記・実技、課題提出、作品提出、成果発表、その他の試験は授業内小テストとする。学修成果や試験種別の評価割合はシラバスに記載されている。

【シラバス】

本学は授業科目ごとにシラバス（授業計画）を作成、ポータルサイトで公表をしている。シラバスには教育目標と概要、学修成果、成績評価、授業外学修、授業展開、実務経験のある教員による科目等が記載されている。シラバスは学修計画、コース別教育課程、評価方法等を理解するうえで重要となるため、科目を履修する際は必ず確認、理解をすること。

♪♪♪ポイント♪♪♪

学修計画を立てるには、まずはじめに「コース別教育課程」を確認しよう!! 外国語科目・ソルフェージュ・キャリア科目・各資格課程は、それぞれの専門ページがあるのでシラバスと併せて確認しよう!!

【GPA 制度】

本学は適切な成績管理の実施、客観的な成績評価、科目間の成績評価基準の平準化を目的として、成績評価に基づき、学業成績を総合的に判断する指標として、単位当たりの成績評価の平均値を示すグレードポイントアベレージ (GPA) を用いている。

○ GPA 算出方法

各評価におけるグレードポイント (GP) は次の通り。

評価	S	A	B	C	F
GP	4	3	2	1	0

GPA とは、成績評価を単位あたりの平均ポイントで表したものである。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{各科目の単位数} \times \text{評価を受けた各科目の GP}) \text{ の合計}}{\text{評価を受けた各科目の単位数の合計}}$$

○ GPA 算出方法における注意事項

- ・ 評価 (S・A・B・C・F) された全ての科目が対象となる。
- ・ 試験未受験 (M)、出席不足による受験停止 (T) 科目も対象 (GP:0) となる。
- ・ 不合格科目を翌年度以降再履修し、合格した場合、不合格の評価も対象となる。
- ・ 単位認定 (N) 科目は対象外となる。
- ・ 履修中止 (W) 科目は対象外となる。
- ・ 資格課程科目 (卒業要件外) は対象外となる。

但し、教養科目としての「生涯学習概論Ⅰ」「図書館概論」「教育心理学」については、GPA の計算に含まれる。

- ・ GPA については累積で算出する。

○ GPA 算出方法例

科目	単位	評価 (GP)	各科目の GP
情報機器演習 (基礎)	2	S (4)	$2 \times 4 = 8$
ピアノⅡ①	2	A (3)	$2 \times 3 = 6$
ハーモニー演習①	2	B (2)	$2 \times 2 = 4$
経済学	2	C (1)	$2 \times 1 = 2$
西洋音楽史Ⅰ (1年生)	4	F (0)	$4 \times 0 = 0$
西洋音楽史Ⅰ (再履修)	4	B (2)	$4 \times 2 = 8$
美術史Ⅰ	2	W -	対象外
基礎英語Ⅰ	2	T (0)	$2 \times 0 = 0$
心理学	2	M (0)	$2 \times 0 = 0$
体育実技	1	N -	対象外
教育原理 (資格科目)	2	S -	対象外
合 計	25		28

左記の場合

- ・ 各科目の GP の合計は 28
- ・ 履修登録した単位数の合計は 25 だが、「W」「N」「資格課程」を除くので、評価を受けた各科目の単位数の合計は 20 となる。

$$28 \div 20 = 1.400 \text{ (小数点第三位四捨五入)}$$

$$\text{GPA} = 1.40 \text{ となる}$$

13. 卒業の認定、要件単位数

ディプロマ・ポリシーに則り、厳格な成績評価のもと、学則によって定められた、4年以上在学し、「卒業要件単位数」の合計124単位以上を修得した者に卒業の認定を与える。

教職・司書に関する科目の単位は一部を除き卒業単位に含まれない。

このほか、教員免許状を取得しようとする者は教職課程の授業科目を履修し、所要の単位を修得しなければならない。同様に、司書課程を履修しようとする者は、各々の課程の授業科目を履修し、所要の単位を修得しなければならない。

14. 学修指導、卒業判定

本学は教育課程委員会および教授会等において、修得単位、GPA 数値により、学修指導、卒業判定を行っている。これは、学生が主体性を持って学修計画を立てる際の指導として、また卒業する学生については、専門的能力、学士力を学修成果として獲得できているかを判断するために行う。

○学修指導

各学年末の修得単位、GPA が以下の学生に対し、学修指導を行う。学生は無理のない履修計画とともに、履修科目の単位修得（B 評価以上）を目指すこと。

学年	1 年生	2 年生	3 年生	指導レベル	注意事項
修得 単位数	25～29	50～70	90～100	注意	・ 資格課程科目は含まない単位数とする。 ・ 履修単位数の上限 (48単位) があるため、 1 年次から計画的に単位修得をすること。
	0～24	28～49	76～89	警告	
	—	27 以下	75 以下	通告	
GPA	1.5 未満	1.5 未満	1.5 未満	注意	

注意 … 成績表開示の際に本人、保護者等に注意書にて通知（ポータルサイト）

警告 … 成績表開示の際に本人、保護者等に警告書にて通知（ポータルサイト）、併せて本人に学修指導を行う。

通告 … 成績表開示の際に本人、保護者等に 4 年間での卒業が不可となることの通告（ポータルサイト）、併せて本人に学修継続の意思確認および学修指導（進路指導）を行う。

○卒業判定

卒業は、修得単位数と GPA の数値をもって判定を行う。

- ・ 卒業要件単位数（124 単位以上）を修得し、GPA：1.5 以上は卒業とする。
- ・ 卒業要件単位数（124 単位以上）を修得したが、GPA：1.5 未満は追加授業、試験等を実施し、その結果をもって再度判定を行う。